

NPO法人 おこしやす“やましな”協議会

## おこしやす “やましな” ニュース vol. 8



発行：平成20年7月

事務局：山科経済同友会TEL501-1818, FAX501-2220  
山科区役所総務課TEL592-3066, FAX502-1639

## 1 平成20年度通常総会を開催

## ○会議の概要

協議会の平成20年度通常総会が、6月23日、多数の会員の皆さんの出席の下、区役所大会議室において開催されました。

会議の冒頭、出竿会長から「19年度は活動の基礎づくり期として、活動の裾野を広げることがを目的に、マップの作成や案内板の設置など、充実した事業が展開できた。これも、三つのプロジェクトチームにおいて、チームリーダーをはじめ会員の皆さんの積極的な協力、支援があったからこそである。今後も会員の皆さんのお力添えの下、新たに加わっていただいた自治連合会の皆さんとも連携しながら、観光振興事業を展開し、まちの発展に微力ながら貢献していきたい」と決意が述べられました。



総会の様子

その後、19年度事業報告及び決算、20年度事業計画及び予算について審議が行われ、いずれも、原案のとおり承認されました。

## ○平成20年度事業計画について

20年度は、協議会活動を軌道に載せるため、19年度に実施した各事業について、効果、課題等を検証のうえ、継続的、発展的に展開することを基本としています。また、区民を含む観光客を対象とする事業を新たに実施し、協議会の存在を区民に広く知っていただき、活動の裾野を広げ、会員数の増加を図ることとしています。

更に京都橘大学と区役所が共同で取りまとめた「山科区観光振興調査報告書」に盛り込まれた課題解決に向けた取組について検討し、実現可能性の高いものから試行実施等に取り組んでいきます。

## 【山科区における観光の課題（山科区観光振興調査報告書から抜粋）】

## ～情報発信力の不足～

- ・戦略的な観光振興を行うための組織や体制がない
- ・効果的な情報発信が不十分

## ～観光産業の不足～

- ・観光客対象の飲食店が不十分
- ・土産物として確立した位置付けにある物品がない

## ～観光基盤の不足～

- ・駅からの公共交通機関が不十分
- ・駐車場が不十分
- ・観光案内板が不十分

## 2 三つのプロジェクトチームで事業を推進

20年度事業の実施に当たり、内容を具体的に検討し、機動的に事業を推進するため、事業ごとにプロジェクトチームを設置することとしました。また、プロジェクトチームにおいては、山科区観光振興調査報告書に盛り込まれた課題解決に向けた取組について、分野ごとに実現に向けての手法、課題の抽出等を行い、実現可能性の高いものについては試行実施等に取り組んでいくこととしています。

全会員（会長、会計担当理事、区役所担当理事、監事、顧問、名誉会員、議員関係者、自治連合会関係者を除く）をいずれかのプロジェクトチームに振り分けています。今後、7月中旬以降、順次、会議を開催しますので、是非とも積極的に参加し、山科区の観光振興についての思いを述べてください。

### 【プロジェクトチームと担当事業】

#### ・情報発信強化チーム

観光マップの作成、おこしやす“やましな”号の運営、ホームページの管理、キャラバン隊の派遣、協議会活動の活性化、観光資源開発 など

#### ・観光産業強化チーム

史跡めぐりの実施、観光資源開発 など

#### ・観光基盤強化チーム

観光案内板の作成、源氏物語千年紀事業の実施、観光資源開発 など

## 3 稲荷山トンネルでキャンペーン活動を実施

6月1日、京都高速道路新十条通の稲荷山トンネルが開通しました。

当日は、記念式典が行われ、山科側出入口では勸修中学校のブラスバンド部による演奏や勸修小学校、百々小学校の生徒による風船放天などが行われました。その後、トンネル内を誰でも自由に歩ける「トンネルウォーク」が行われ、主催者の予想をはるかに上回る、約9千人が参加しました。

協議会も、トンネル内のイベントスペースに「おこしやす“やましな”号」を展示して、キャンペーン活動を実施。昨年度作成した2種類の観光マップなどを来場者に配布しました。たくさんの人でイベントブースは熱気に包まれ、用意したマップは瞬く間になくなりました。

キャンペーン活動の様子

